

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
固定資産の減価償却法は、定率法を採用している。
- (2) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金・預金、立替金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金及び未払法人税等・未払消費税等を含めている。
なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	14,907,746	14,951,019
立替金		480,406
未収金	5,941,451	2,069,521
仮払金		109,960
合 計	20,849,197	17,610,906
未払金	4,410,801	5,636,193
前受金	35,000	145,000
預り金	295,030	704,033
未払法人税等	229,600	80,000
未払消費税等		1,529,200
合 計	4,970,431	8,094,426
次期繰越収支差額	15,878,766	9,516,480

3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,300,000	678,848	621,152
什器備品	2,328,842	1,676,542	652,300
合 計	3,628,842	2,355,390	1,273,452